

市街化区域内で ヘッドリース事業

エム・ケー

エム・ケー(日野市・小林勤社長)は、初めて「市街化区域内」で複数地権者の土地を取りまとめて貸し付ける賃貸事業(ヘッドリース事業)に取り組み、19日に第1弾となる「VOLVO S



ELEKT 尾山台」(世田谷区尾山台3ノ4ノ3)に写真がオープンした。

環状八号線に面した敷地(461平方メートル)について、昨年8月から8人の地権者と交渉し一括借り上げに成功。エム・ケー所有の店舗とともにボ

ルボ・カー・ジャパン(港区・木村隆之社長)と賃貸契約を結んだ。

同社が市街化調整区域の大規模開発で培ったノウハウを生かして、地権者と進出企業の双方にメリットが見いだせるよう調整を重ね、開店に漕ぎ着けた。

ボルボ・カー・ジャパンの木村社長は「出店できたのは地権者、土地を取りまとめたエム・ケー、施工担当の日東工業など、多くの方々の協力のおかげ」と述べ、今回の店舗を皮切りに、単独の認定中古車店の全国展開に意欲を示した。